

シネマズライフ

2018年10月19日発行 第152号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事！】

『音量を上げるタコ！』に歌ってんのか全然わかんねえんだよ

読んでるだけで、うるさそう…。Wikipediaを参考にさせていただきました。

【最近のこれはまずいぞ！】

『ライ麦畑で出会ったら』 確かに(ライ麦畑でつかまえて)える前に出会わないと捕まえられないよね。

映画の風景 日本の風景

※ 新西宮ヨットハーバー ※



—新西宮ヨットハーバー—

「フィリップ、きみを愛してる！」という映画があった。こんな映画だ。アメリカの小さな町の警察官をしているステイブンは妻と娘と幸せに暮らしていた。実はステイブンは養子で産みの母を知りたくて調べて訪ねてみると、産みの母は冷たい態度。シヨックを受け警察を退職。その上、交通事故に遭い正直に生きる事を決心。実は彼は『ゲイ』。妻と子供とは別れ(恋人)と同棲を始める。その生活はゴージャス!ところが、その収入は詐欺をしての生活だった。やがて、詐欺が発覚、当然のことく刑務所入りに。しかし、人生とは思えないもの。そこでフィリップ・モリスというかわいイケメンに一目ぼれ。やがて積極的なステイブンをフィリップは愛するようになる。しかし、愛を確かめたいにも関わらずステイブンが他の刑務所に移送されて別れ別れに。悲しむフィリップだったが、しばらくして弁護士と偽ったステイブンが弁護士と信じる愛する彼と暮らし始める。ステイブンは一時は真面目に働いていたものの、やがて昔のクセが出てステイブンは刑務所に逆戻り、事件に巻き込まれたフィリップは激怒するが、そんな彼をステイブンはずっと愛していた…。

「愛しているからどこまでも」ここまで愛されるとうれしいのか悲しいのか(笑)。

ステイブンの素直な生活の象徴がヨット生活。しかし、ほんとは誰でも愛する人と暮らしていれば最大の幸せだと思えるのだが…。

『フィリップ、きみを愛してる!』2009年 フランスアメリカ 製作総指揮リュック・ベッソン
監督 脚本: グレン・フィカラ ジョン・レクア 原作: スティーヴ・マクヴィカー 出演: ジム・キャリー ユアン・マクレガー

公開にあたって「ゲイすぎる」という理由で公開が遅れ10ヶ月後、劇場未公開の時もあったが公開。上映館も少なかった。さて、今なら大変な話題作になったのではないかと。

コラム

【ロボット】が 気持ち悪くなった件

テレビを見ていたら最近のロボット事情をやっていた。私の知っているロボットといえば、ドラえもんか映画でいえば『禁断の惑星』のロビーか、『メトロポリス』の美女ロボット。こちらの方はいつの間にか人間に化身するんだからすごいわ。

テレビのロボットは「アトラス」。動きはもう人間で、階段は軽く上がり降りするし、なんと飛んででんぐり返りまでする。すごいなあとは思いますが、もし、目の前であんな事をされたらゾッとするなと思った。気持ち悪い。もちろん、人間の為に作ったロボットなのだろうが、まずは戦争に使われるのは確かだろう。もし、戦争が始まって普通に道歩いていたら、あのロボットがスタ



↑ ASIMO(アシモ)

スタ歩いてきて「やあ!」なんて言われたら逃げる事もできないだろう。

いよいよ、『ターミネーター』の世界がきたんだと思う。AIの時代にも突入しており、カウントダウンが聞こえてきた感じ。

歴史は、強い者が弱い者を征服してきた。

人間はわざわざ人間より強い者を作り出そうとしている…。



↑『メトロポリス』美女ロボット

★【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

